

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 4 発行 横須賀市教育委員会 2023.3



1月23日に開催した第4回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会（以下、「地域別協議会」という。）の内容についてお知らせします。

○第4回地域別協議会の主な議題

- 1 第2回横須賀市立小中学校適正配置審議会（12月26日開催）の概要報告
- 2 同審議会での意見等を踏まえた意見交換

1 これまでの振り返り

本市教育委員会は、「地域別協議会」を設置し、地域関係者、保護者、学校関係者の方々の意見を伺い検討を進めていますが、昨年12月26日に審議会を開催し、これまでの検討状況等の報告を行いました。

第4回地域別協議会では、審議会での意見等を踏まえて、教育環境整備について意見交換を行いました。

○ 開催経過

・横須賀市立小中学校適正配置審議会

	日程	議題
第1回	5月23日（月）	・教育環境整備の方策等について諮問
第2回	12月26日（月）	・これまでの地域別協議会の状況報告

・走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会

	日程	議題
第1回	5月30日（月）	・教育環境整備の方策等について意見交換
第2回	7月19日（火）	
第3回	10月14日（金）	
第4回	1月23日（月）	・審議会を踏まえた教育環境整備の方策等について意見交換

※教育環境整備に関する検討体制につきましては、本紙の4ページをご覧ください。

2 審議会（12月26日開催）での意見等の概要について

（1）通学や通学路について

- 天候次第で海沿いの通学路の歩行が困難になる場所については、丁寧にケアしていれば良いと思います。
- 通学と通学路の安全の担保については、例えばバス通学の負担とスクールバスの導入の有無について等の具体案があると議論を進めやすいと思います。
- 市だけで安全性の担保は難しいと思いますので、地域全体の安全性を高められるよう国と県に働きかけをお願いしたいです。
- スクールバスの導入や通学費用の無料化は既存の学校では行っていないので、公平性の原則上は特定の者への行政サービスとなりますし、今後の適正配置に向けた検討に影響します。
税金の使い方あるいは教育の適正化との観点でのバランスのとり方は非常に難しいですし、地域のご意見は大事ですけれども、そこを踏まえた確固たる考え方を持つ必要があります。
- 今後少子化がさらに進む中で、従来、学校の適正配置の取り組みの基としてきた小・中学校及び地域単位の範囲をもう少し広げた形にしないと、今後も同じような検討の場が多く出てくると思います。

（2）走水の地域や環境について

- 何らかの形で跡地を活用し、子どもたちが集まれるような方法がとれるのであれば、その環境の良さを生かせると思いますので、もう少し具体的な方向性等が示せば良いと思います。
- ホタルの里に関しては、学校の問題とは関係なくこの活動を生かしていただき、地域の子どもと大人も含めたコミュニケーションの場として跡地利用を考えていただけるとありがたいです。

（3）学校規模について

- 児童が少人数であるため、学習指導要領に沿った教育を考えるのが難しくなります。また、最初から少人数でしかできない学びと、ある程度の規模の中で、単元または授業の性質に応じて少人数で行う学びは大きく異なります。
- クラス替えをする余地がないことは、保護者も含めた人間関係の固定化につながります。仮に人間関係のトラブルが起きた場合、この状況のまま学年を上がらなくてはいけない辛さもありますし、これが子どもたちにとって本当に良いことなのでしょうか。
- 子どもたちにとっては多くの友達がいて、たくさんの先生に教えてもらった方が良いと思いますし、保護者の方も同じ気持ちだと思います。
- 今はどの学校、教科でも、小グループとクラスでさまざまな意見と考え方を共有し、そこから知識と技能を結びつけていく形で授業を行っていますので、小規模校においてどのように対応していくのでしょうか。

3 第4回地域別協議会で出た主な意見の概要について

(1) 通学や通学路について

- 通学面の困難があることは十分理解しています。仮に学校を統合する場合、スクールバス等さまざまな方策が考えられますが、市で考慮していただき、子どもたちが安全に通える形にしていただければ良いと思います。
- 登下校の時間は、子どもたち同士のコミュニケーションにおいてとても大事な時間だと思います。バス通学で静かにしなければならなくなることで、こうした時間が失われるのはかわいそうです。

(2) 走水の地域や環境について

- できるだけ多くの友達と学校生活を過ごしてほしいという気持ちは皆同じだと思います。
- 京急バスについて、浦賀から観音崎を經由して走水に抜ける形で改正をお願いできれば、人的な交流の拡大及び観光地としての活性化につながると思います。
- 自衛隊官舎や防衛大学校の土地の件については、どうすれば市で土地を購入したり、新しく人を迎えたりすることができるかの話をしてほしいです。

(3) 学校規模について

- 小学校6年間で子どもたちがどのような思いをし、学習をしていくかなどを見据えた上で中学と高校へとつなげていくかを重視していく必要があります。
- 学校規模については、走水小学校の各学年が複数学級になるまでという前提ではなく、各学年当たりの児童数が10~15人へと徐々に増えれば良いと思います。
- 少子化が進む認識であれば、今後、小規模校でなければできない地域が出る可能性もありますので、それを前提とした制度への方針転換も考えられますし、オンラインの活用等によって学校の教育を少しずつ変えられれば良いと思います。

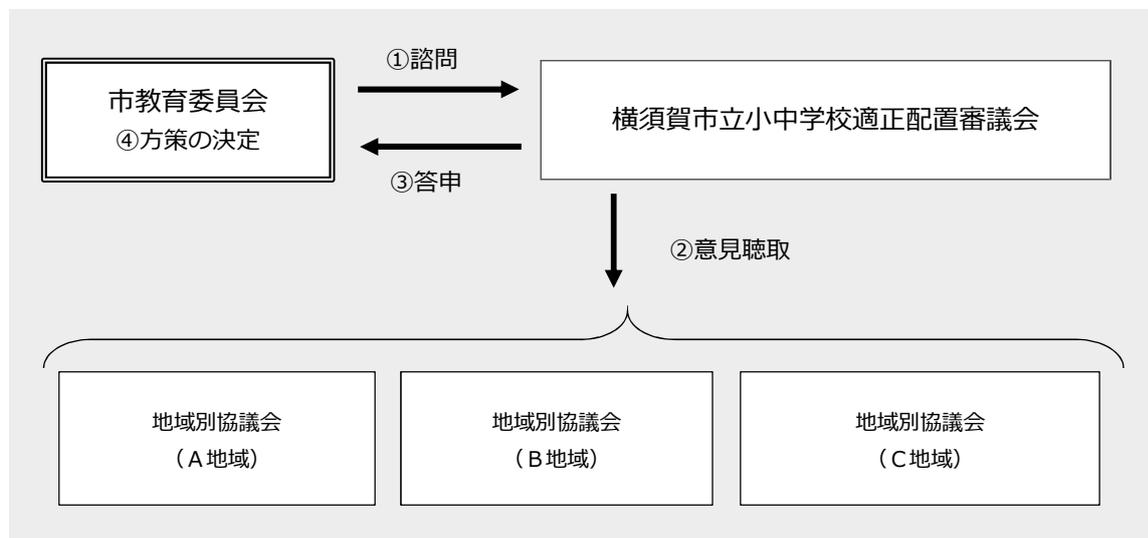
(4) 方策の検討について

- 審議会では、学校の規模及び教育効果等の面で学校の統合が適切とする意見でまとまりつつあるようですが、これにより走水地域の過疎化が進んだ場合、果たしてこれが正しい決め方なのでしょうか。
⇒地域の皆さまのご意見を審議会委員にお伝えした上で審議していただいていますので、地域の文化や地域の皆さまの思いをないがしろにしていることではありませんが、児童数が減少している状況において、公立小学校にとって望ましい教育環境を考えていきたいと思っています。

(参考) 教育環境整備に関する検討体制について

教育環境整備の方策については、地域別協議会にて頂いたさまざまなご意見を踏まえて審議会で検討を行います。

最終的には、教育委員会が審議会からの答申を受けて方策の決定を行います。



4 次回、第5回地域別協議会の開催について

日時 令和5年3月17日(金) 19時00分～20時30分

場所 大津コミュニティセンター 学習室4・5・6

※傍聴できます。18時50分までに直接会場にお越しください。

定員10名(定員を超えた場合は抽選)

教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかEメールまでお願いいたします。

事務局(お問い合わせ先)

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

Eメール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀が好き!

